

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DIGITAL

UHF27素子アンテナ

共同受信用 (ch.13~52)

[水平・垂直偏波共用、出力75Ω (F形座)仕様]

アルミ仕様

UAX27Y1

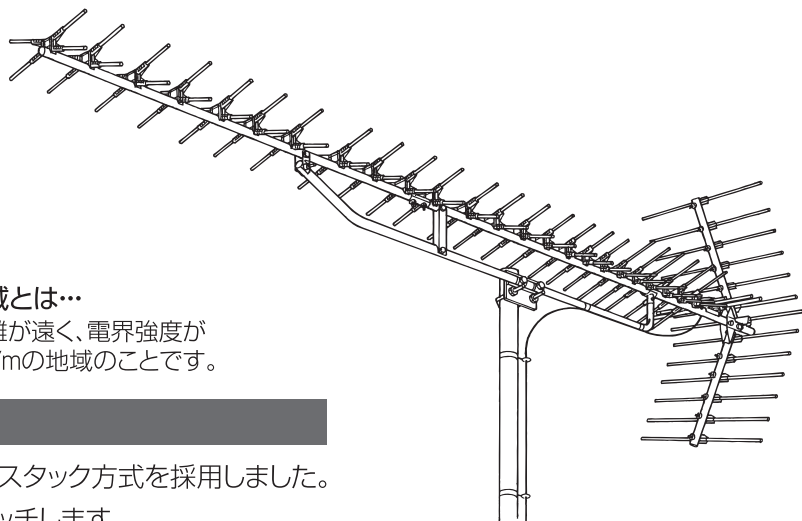
ステンレス仕様

UAX27Y1S

超弱電界地域用

※超弱電界地域とは…

電波塔から距離が遠く、電界強度が
50~60dBμV/mの地域のことです。



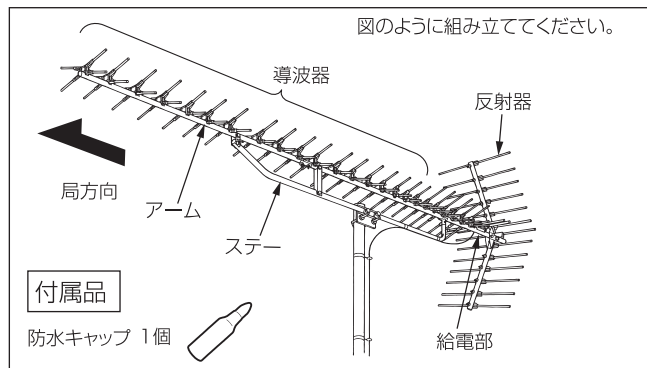
製品の特長

- 弱電界地域でも受信できるよう(注)、高性能パラスタック方式を採用しました。
- 高利得、シャープな指向性で電波を確実にキャッチします。
- ステンレス仕様の機種は、塩害地域などでも長期間使用できます。
- 土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質を使用しないことなど
厳しい自社基準をクリアした製品です。

(注) 一定以上の受信品質(C/N比)が確保されている必要があります。

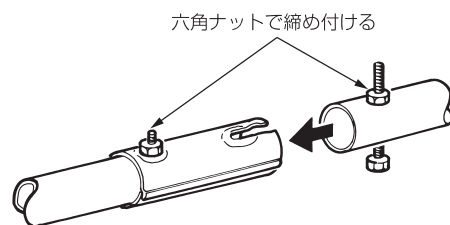
各部の名称および組立方法

<各部の名称>



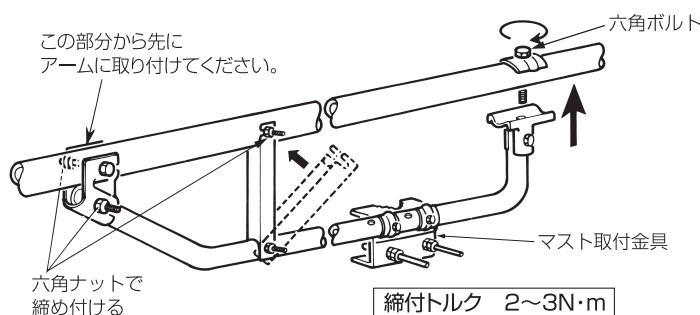
<前後アームの組立>

締付トルク 2~3N・m

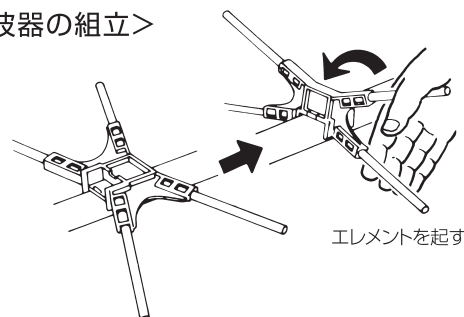


前後アームは接続金具にいっぱいまでさし込み、
六角ナットでしっかりと締め付けてください。

<ステーの組立>

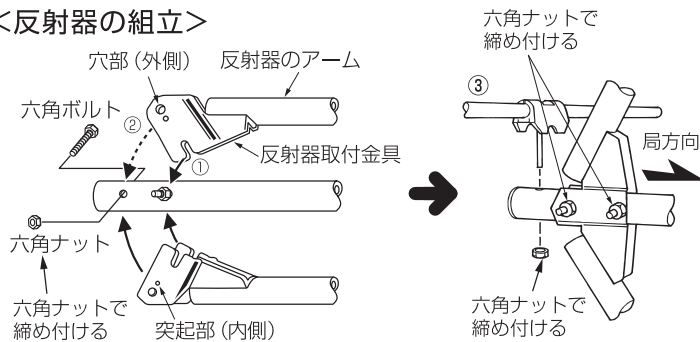


<導波器の組立>



組立方法のつづき

<反射器の組立>



- ・上下の反射器をアームに取り付けてください。
- ・図のように反射器取付金具側面の突起部が内側で、穴部が外側になるように①のフックをひっかけて、②の穴をアーム穴と合わせて六角ボルトを挿入してください。
- ・六角ナットでしっかりと締め付けてください。
- ・③の反射器を中央に合わせてしっかりと取り付けてください。

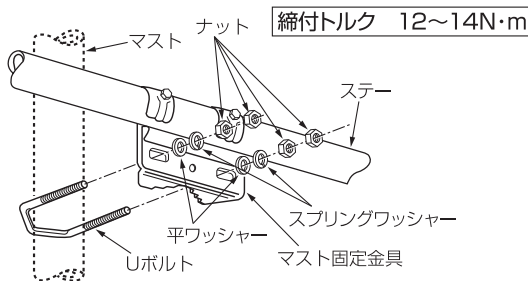
締付トルク 2~3N・m

取付方法

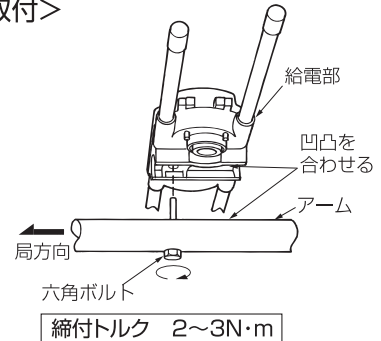
<マストへの取付>

<水平偏波受信時>

※このアンテナはφ32~φ62のマストまで取り付けることができます。



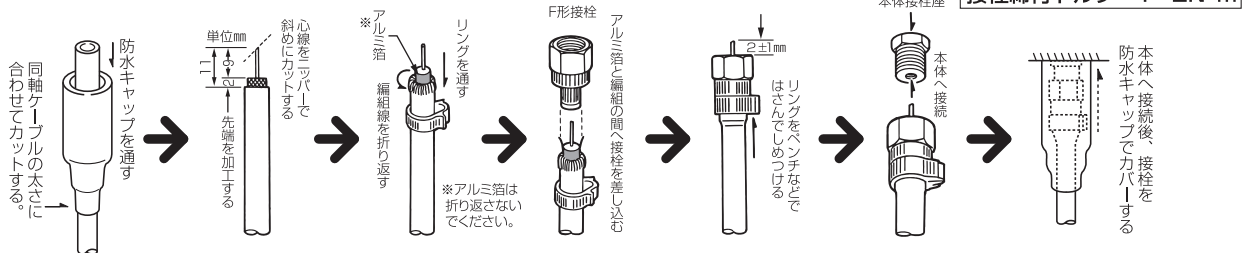
<給電部の取付>



<垂直偏波受信時>

マスト取付金具を一旦ステーより取りはずし、90°ずれた他方の穴に固定してください。

<F-5接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法>



- ・同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組線に傷をつけますと断線の原因となりますのでご注意ください。また、心線と編組線は絶対に接触しないようご注意ください。
- ・電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルはS-5C-FBの低損失ケーブルをおすすめします。また、BS-CDXなど、他のサイズの同軸ケーブルをご使用の場合、それぞれの同軸ケーブルに適した接栓(別売)をご使用ください。
- ・接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないか確認し、曲げないようにまっすぐ接続してください。
- ・接栓は、接続ナットを1~2N・mで締め付けてください。(2N・mを越えるトルクでは、締め付けしないでください。)

規格特性

品番	素子数	使用周波数(MHz)	使用チャンネル(ch.)	インピーダンス(Ω)	動作利得(dB)	前後比(dB)	VSWR(以下)	半値幅(度)	寸法(高さ×幅×長さ)	質量(kg)	受風面積(m ²)
UAX27Y1	27	470~710	13~52	75 (F形)	10.6~16.4	20~30	2	15~40	650×500×2900	3.8	0.30
UAX27Y1S										6.0	

※耐風速: UAX27Y1:45m/s UAX27Y1S:60m/s (いずれも破壊風速)

※塩害のはげしい地域など特殊な環境の地域では、ステンレス仕様(UAX27Y1S)をご使用ください。規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

カスタマーセンター 0120-941-542

〔受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く〕

携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1302)